

令和 2 年度 決算 に 係 る
定 期 監 査 調 書

令和 3 年 5 月

病 害 虫 防 除 所

目

次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	1頁
4	役付職員の調べ	2頁
5	主な事業に関する調べ	3頁
6	収入証紙取扱調べ	6頁
7	現金の取扱状況	6頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	6頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付け及び使用許可調べ	6頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産明細調べ	7頁
11	職員駐車場の管理状況調べ	7頁
	(1) 管理状況	
12	寄附物件の受納状況調べ	7頁
13	備品の処分状況調べ	7頁
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	7頁
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	事業別予算執行状況調べ	7頁
○	意見、要望等	8頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

指 摘 事 項	措 置 状 況 等
該当なし	

(2) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
該当なし	

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
該当なし	

3 職員の定員、現員調べ

(令和3年4月1日現在)

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当該 年度	2.4.1 現 在	当該 年度	2.4.1 現 在	当該 年度	2.4.1 現 在	当該 年度	2.4.1 現 在	
定 員	1	1	13	13			14	14	
現 員	(1) 1	(1) 1	(13) 13	(13) 13	() ()	() ()	(14) 14	(14) 14	() 内は兼務職員 兼務職員の内訳 農業試験場1(事務) 農業試験場6(技術) 園芸試験場7(技術)
過不足(△)	0	0	0	0			0	0	
臨 時 的 任 用 職 員									
会 計 年 度 任 用 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	

4. 役付職員の調べ

(令和3年5月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
所 長	(兼) 坂東 悟	年 1	月 1	本務 農業試験場 場長
次 長	(兼) 吉田 亮	1	1	本務 園芸試験場 場長
課長補佐	(兼) 長谷川 優	6	1	本務 農業試験場 環境研究室長
課長補佐	(兼) 米村 善栄	0	1	本務 園芸試験場 環境研究室長
課長補佐	(兼) 大塩 真司	1	1	本務 農業試験場

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳																							
		国庫支出金	起債	その他	一般財源																				
指定病害虫発生予察事業	1,448	1,448		0	0																				
重要病害虫発生予察事業	1,496	0		0	1,496																				
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉を開く																								
令和新时代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ①農林水産業の活力増進																								
政策項目	2 しごと新时代づくり																								
(概要)																									
ア 目的及び事業の実施状況																									
(ア) 目的																									
植物防疫法第22条に規定する指定病害虫、及び県内で問題となる重要病害虫を対象として、適切な防除対策を講じるために必要な発生予察調査を行い、被害のまん延を未然に防ぐ。																									
(イ) 事業の実施状況																									
1) 予察灯、フェロモントラップによる害虫の誘殺調査及び現地定点ほ場における病害虫発生状況調査を行った。																									
2) 病害虫防除所が行う発生予察を補完するため、17名の農業者を病害虫調査員として委嘱し、情報収集を行った。																									
3) 農家が適切に防除を行えるよう、調査結果と気象予報により今後の病害虫の発生時期及び発生量を予測し、農業団体等へ病害虫発生予察情報を提供した。発生予察情報は、国の規定に基づき、その重要度や内容により、予報、注意報、警報、特殊報として提供した。その他、フェロモントラップ等の調査結果や現場の防除指導に役立つ情報は、指導情報として提供した。																									
(1) 対象とした作物及び病害虫																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象作物</th> <th>指定</th> <th>重要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通作物</td> <td>イネ、ムギ等3作物</td> <td>18種</td> <td>11種</td> </tr> <tr> <td>果樹</td> <td>ナシ、ブドウ等3作物</td> <td>16種</td> <td>11種</td> </tr> <tr> <td>野菜・花き</td> <td>スイカ、ネギ等7作物</td> <td>26種</td> <td>30種</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>60種</td> <td>52種</td> </tr> </tbody> </table>						区分	対象作物	指定	重要	普通作物	イネ、ムギ等3作物	18種	11種	果樹	ナシ、ブドウ等3作物	16種	11種	野菜・花き	スイカ、ネギ等7作物	26種	30種	計		60種	52種
区分	対象作物	指定	重要																						
普通作物	イネ、ムギ等3作物	18種	11種																						
果樹	ナシ、ブドウ等3作物	16種	11種																						
野菜・花き	スイカ、ネギ等7作物	26種	30種																						
計		60種	52種																						
(指定病害虫に関する調査及び報告業務は、法定受託事務)																									
(2) 提供した病害虫発生予察情報(令和2年4月～3年3月)																									
・予報：主要病害虫の発生予測を定期的に発表(12回)																									
・注意報：多発生が懸念される病害虫について発表(3回)																									
・警報：病害虫の大発生が予想される場合に発表(なし)																									
・特殊報：新規病害虫の発生や生態及び発生消長が特異な場合に発表(1回)																									
・指導情報：調査結果の速報及び現場指導に役立つ情報について発表(89回)																									
(3) ホームページでの情報提供回数(令和2年4月～3年3月)																									
・情報更新回数77回、アクセス数9,072回																									
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点																									
・ブロッコリー黒すす病の調査時期を見直し、年度計画を作成した。次年度以降、調査数を見直し、より効率的な予察計画とする。																									
ウ 成果及び効果																									
・調査対象病害虫の発生状況及び防除対策について、各関係機関に情報提供することにより、現場指導に活かされた(詳細は以下のとおり)。																									

病害虫名	発生状況および防除対策等
イネ縞葉枯病	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、発生が増加しており、重要病害となっている。発生は中生品種栽培ほ場を中心に、中平坦地の全域で散見された。 ・本病を媒介するヒメトビウンカの発生が増加しているが、ウンカ類に対して高い効果を示す育苗箱施用剤が導入されたため、発生の多かった前年に比べて発生は減少した。
トビイロウンカ	<ul style="list-style-type: none"> ・本虫の飛来回数、飛来量とも平年および前年より非常に多かった。8月に指導情報および注意報を発表し、さらに9月にも指導情報を提供し、防除の徹底を呼びかけた。 ・県東部の全域および中部の一部地域で発生がみられた。ほ場の半面が枯れたほ場も散見されたが、防除が例年以上に行われたため、全面が枯れる甚大な被害には至らなかった。
斑点米カメムシ類	<ul style="list-style-type: none"> ・水田周辺のイネ科植物の生育が旺盛であったことから、7月下旬時点での発生が多かった。8月に注意報および指導情報を発表し、注意喚起、薬剤散布の徹底を呼びかけた。これらの情報は、現場指導方針の決定に活かされた。
果樹カメムシ類	<ul style="list-style-type: none"> ・5～10月に旬ごとに予察灯の誘殺情報を提供するなど、定期的に情報発信を行った。また、6月には注意報を発表し、防除の徹底を呼びかけた。これらの情報は、現場指導方針の決定に活かされ、ナシの果実被害は最小限であった。
ナシ黒星病	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、ナシ黒星病は重要病害となっている。 ・4～5月に半月毎に孢子飛散量、および5、6月に巡回調査結果を提供し、さらに、4、5、6月に注意喚起を目的とした追加情報を提供するなど、機会を捉えて現場に情報提供を行い、これらは、現場指導方針の決定に活かされた。
ブロッコリー黒すす病	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は平成28、29年に多発生となった。 ・防除対策の確立と平行して、予察調査時期等も見直し、季節毎に指導情報の提供を行っている。これらの情報は、現場指導方針の決定に活かされ、令和2年度は平年と比べて少ない発生量であった。

エ 課題

- ・イネ縞葉枯病は中生品種（特にきぬむすめ）で発生しやすく、今後も発生増加が懸念されることから、引き続き県内の発生動向に注意を要する。
- ・トビイロウンカの海外からの飛来が、令和元、2年の2年連続で認められており、今後も飛来リスクがあることから、引き続き県内の発生動向に注意するとともに、定期的な情報発信が必要となっている。
- ・本県オリジナル品種のナシ「新甘泉」の栽培面積が増加し、ナシ黒星病対策が最重要課題となっている。定期的に情報発信するとともに、防除対策の検討が必要である。併せて防除対策を講じる上で、関係機関との連絡調整をこれまで以上に密に行う必要がある。

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
ミバエ類等侵入警戒調査事業	119	119		0	0
将来ビジョン	1 ひらく 地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉を開く				
令和新時代創生戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ①農林水産業の活力増進				
政策項目	2 しごと新時代づくり				
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
法定受託事務として、国内への侵入やまん延が特に警戒されているミバエ類等の侵入警戒調査を行い、これらの病害虫を早期に発見する(植物防疫法第21条及び第32条の2)。					
(イ) 事業の実施状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・チチュウカイミバエ及びコドリガについて、県内4ヶ所で誘引トラップによる調査を実施した。 ・スイカ果実汚斑細菌病について、県内12ヶ所でほ場調査を実施した。 ・バラ科植物の火傷病について、県内ナシ生産ほ場25ヶ所で調査を実施した。 					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> ・ウメ輪紋ウイルスについては、感染していない事が確認された果樹生産地域の調査は中止し、苗木の移動による感染の可能性のある果樹用苗生産地域、観賞用苗生産地域について調査した。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> ・各対象病害虫とも、県内への侵入および発生は確認されなかった。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> ・調査業務の効率化に向けた改善を引き続き行う必要がある。 					

6 収入証紙取扱調べ
有 ・ 無

7 現金の取扱状況
(1) 現金取扱状況
該当なし
(2) つり銭の状況
該当なし

8 財産に関する調べ
(1) 公有財産
ア 土地
該当なし
イ 建物
該当なし
ウ 山林
該当なし
エ 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)
該当なし
オ 物権
該当なし
カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
該当なし
キ 有価証券
該当なし

(2) 金券類の保有状況
ア 金券の保有状況
 有 ・ 無

(令和3年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		増	減		
郵便切手及び郵便はがき	円 14,756	円 33,975	円 31,837	円 16,894	
合 計	14,756	33,975	31,837	16,894	

イ タクシーチケットの保有状況
該当なし

9 財産の貸付け及び使用許可調べ
(1) 土地及び建物
ア 土地
該当なし
イ 建物
該当なし
(2) 物 品
該当なし

10 借受不動産明細調べ

該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

該当なし

12 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

13 備品の処分状況調べ

該当なし

14 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・ 無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

15 事業別予算執行状況調べ

目 名		肥料植物防疫費	(令和3年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)		
病虫害防除所運営費	病虫害防除所の設置及び運営に要する経費		
指定病虫害発生予察事業	「5 主な事業に関する調べに記載」		
重要病虫害発生予察事業	「5 主な事業に関する調べに記載」		
ミバエ類等侵入警戒調査事業	「5 主な事業に関する調べに記載」		

意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

(例：日程、調書様式、その他監査に関する要望、改善点等)
特になし